

K断層との連続性を検討する上で重要なデータの追加観察/追加データの取得

・K断層及びK断層南方の破碎部の性状を示すデータについては、K断層との連続性を検討する上で重要なデータであることから、追加観察や追加データの取得を行った。追加観察及び追加データの取得の内容を以下に示す。

第833回審査会合までに実施した追加観察及び追加データの取得の内容

K断層	<p>【追加観察】</p> <p>②条線方向：周囲の確認箇所と運動方向が大きく異なる破碎部について、条線方向の追加観察を実施</p>
K断層南方の破碎部	<p>【追加観察】</p> <p>①断層岩区分：これまでボーリングコアの観察結果のみに基づき断層岩区分を行ってきた破碎部について、薄片観察結果に基づく断層岩区分を実施</p> <p>【追加データの取得】</p> <p>②条線方向：これまで条線方向を取得していなかった破碎部について、データを追加</p> <p>③最新活動面の変位センス：これまで最新活動面の変位センスを取得していなかった破碎部について、データを追加</p>

85：K断層南方10本の破碎部のうち、最新活動面深度及び走向・傾斜が変更になった箇所、新たに薄片観察を行った箇所（薄片追加作製）を反映

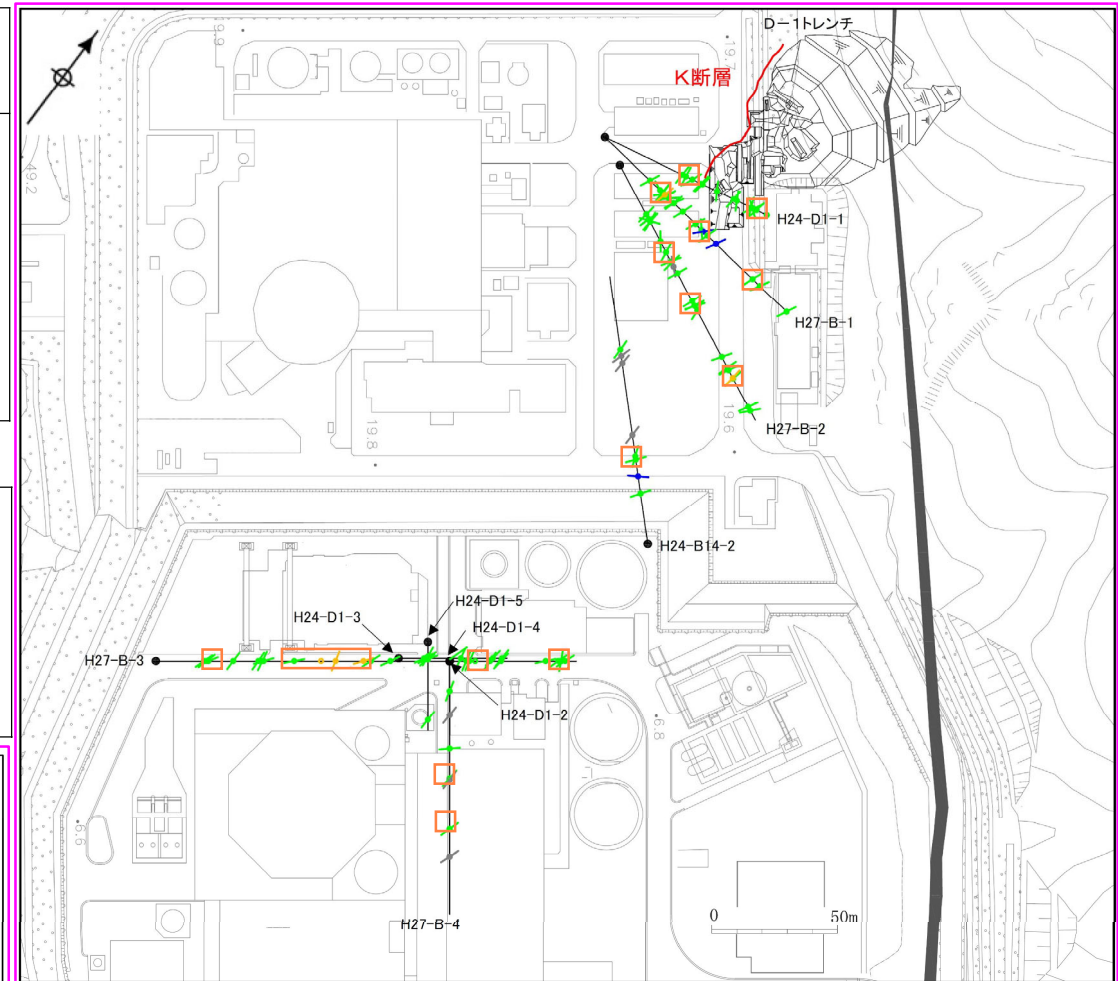
今回実施した追加観察の内容

K断層及びK断層南方の破碎部	<p>【追加観察】</p> <p>④断層岩区分：追加した文献も踏まえた薄片観察による断層岩区分を実施</p> <p>【追加データの取得】</p> <p>⑤最新活動面の変位センス及び断層岩区分：肉眼観察で断層ガウジと評価された破碎部のうち、最新活動面の変位センスや断層岩区分を取得していなかった破碎部について薄片試料を作製し、データを追加</p>
----------------	--

凡例

- ボーリング孔
- トレンチ
- 浦底断層 (T.P. -15m)
- K断層 (T.P. -15m)
- 肉眼観察による断層岩区分を行った破碎部
- 既往の薄片試料の追加観察 (断層岩区分)を行った破碎部(※)
- 第833回審査会合までに新たに作成した薄片試料の観察 (断層岩区分, 最新活動面の変位センス)を行った破碎部(※)
- 第833回審査会合以降に新たに薄片観察 (断層岩区分, 最新活動面の変位センス)を行った破碎部

※ 追加した文献も踏まえた薄片観察による断層岩区分の追加観察を行った。

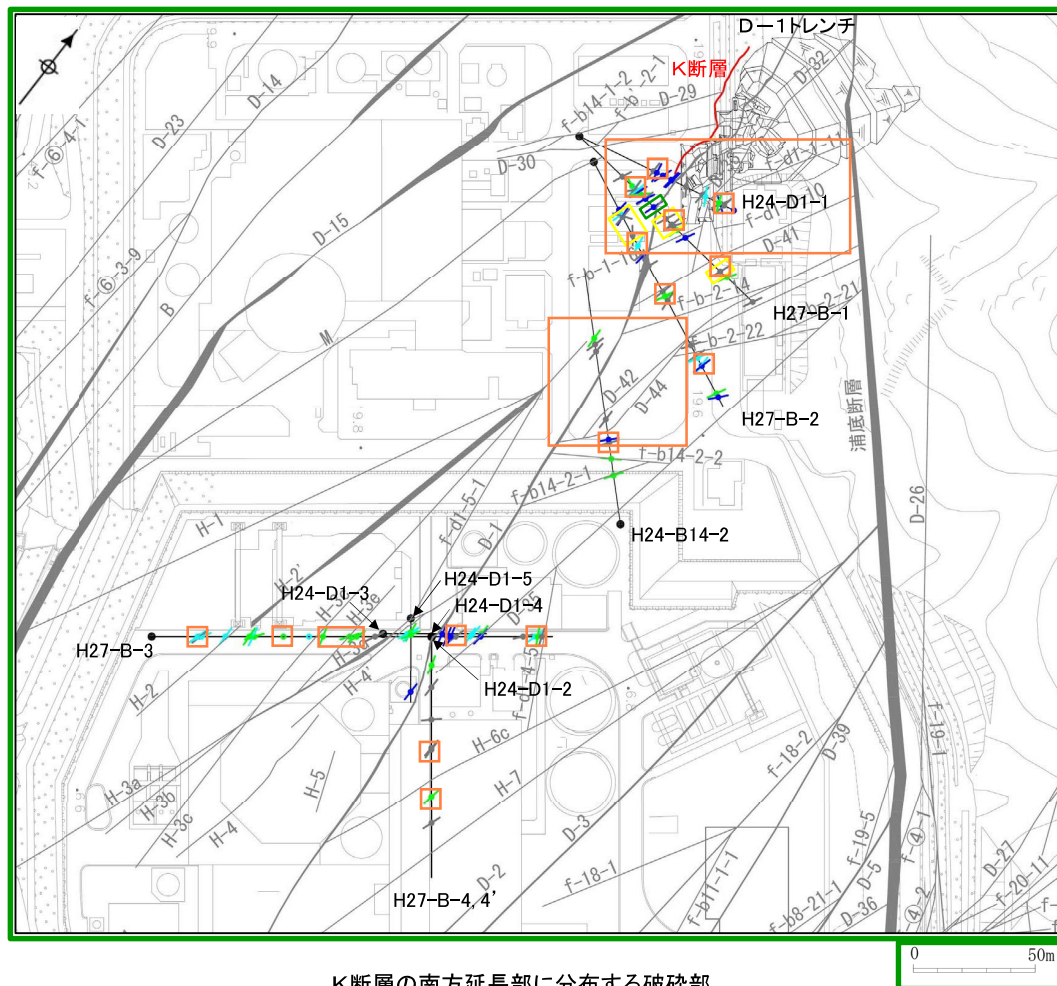


追加観察又は追加データを取得した破碎部

K断層の連続性評価について

K断層の連続性評価結果

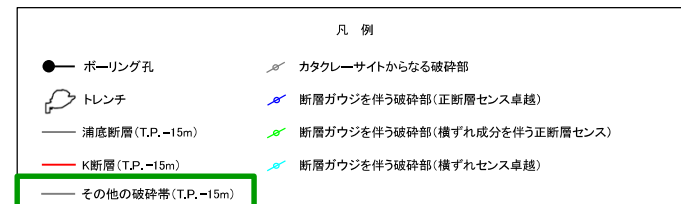
- K断層は、D-1トレンチの北西法面からふげん道路ピットの中央付近に至る区間において連続して認められる。
- K断層の変位・変形量は、南方(ふげん道路ピット)に向かって減少している。
- 従前の説明から拡充したデータ(全10孔のボーリングデータ)も含め連続性を検討した結果、K断層南方の破碎部には、K断層の性状(N-S走向、高角度西傾斜、断層ガウジを伴う逆断層センス卓越)と類似するものは無い。
- 以上のことから、複数の観点から総合的に判断した結果、K断層はK断層南方の破碎部とは連続しないと判断される。



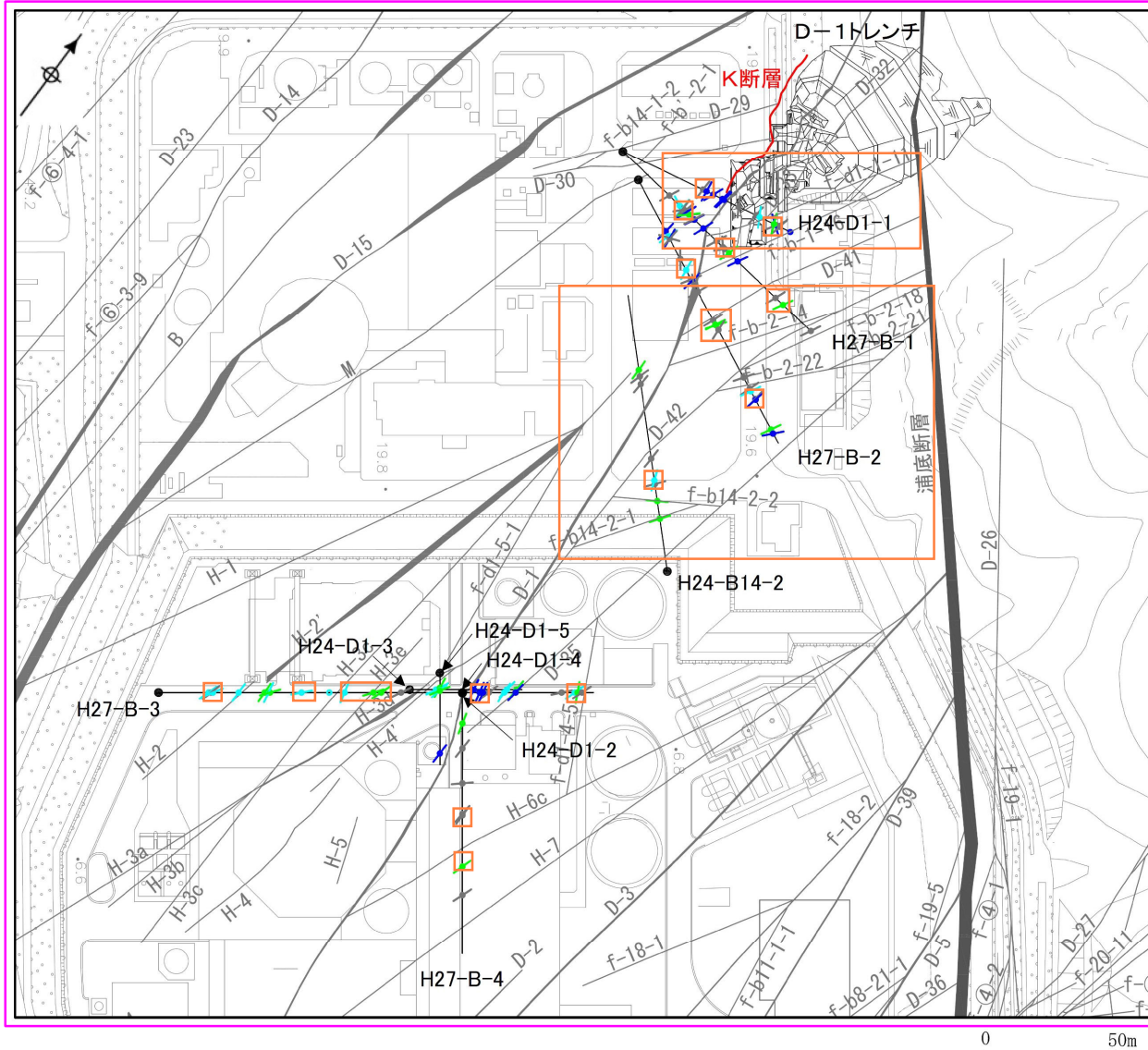
K断層の南方延長部に分布する破碎部



K断層はD-1トレンチより南方に連続せず、重要施設直下に連続しないことから4条対象破碎帯であると判断される。



K断層の連続性評価結果(2/2)



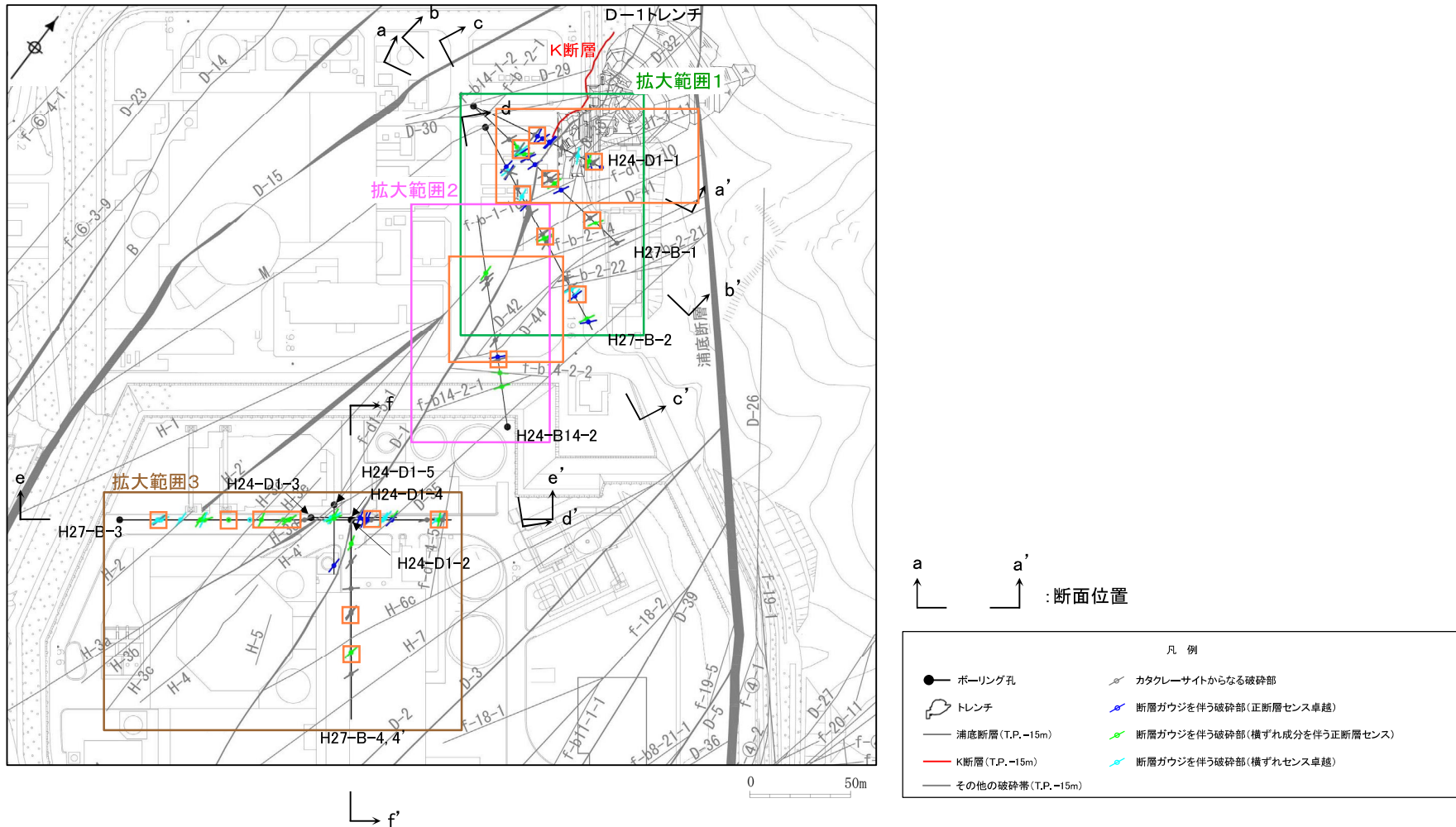
K断層の南方延長部に分布する破砕部

凡例	
●	ボーリング孔
○	トレンチ
—	浦底断層 (T.P. -15m)
—	K断層 (T.P. -15m)
—	その他の破砕帯 (T.P. -15m)
■	カタレーサイトからの破砕部
▲	断層ガウジを伴う破砕部 (正断層センス卓越)
▲	断層ガウジを伴う破砕部 (横ずれ成分を伴う正断層センス)
▲	断層ガウジを伴う破砕部 (横ずれセンス卓越)

26, 40, 85 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破砕帯の分布を修正 (具体的には、後掲の拡大図に記載)。

平面拡大範囲と断面位置

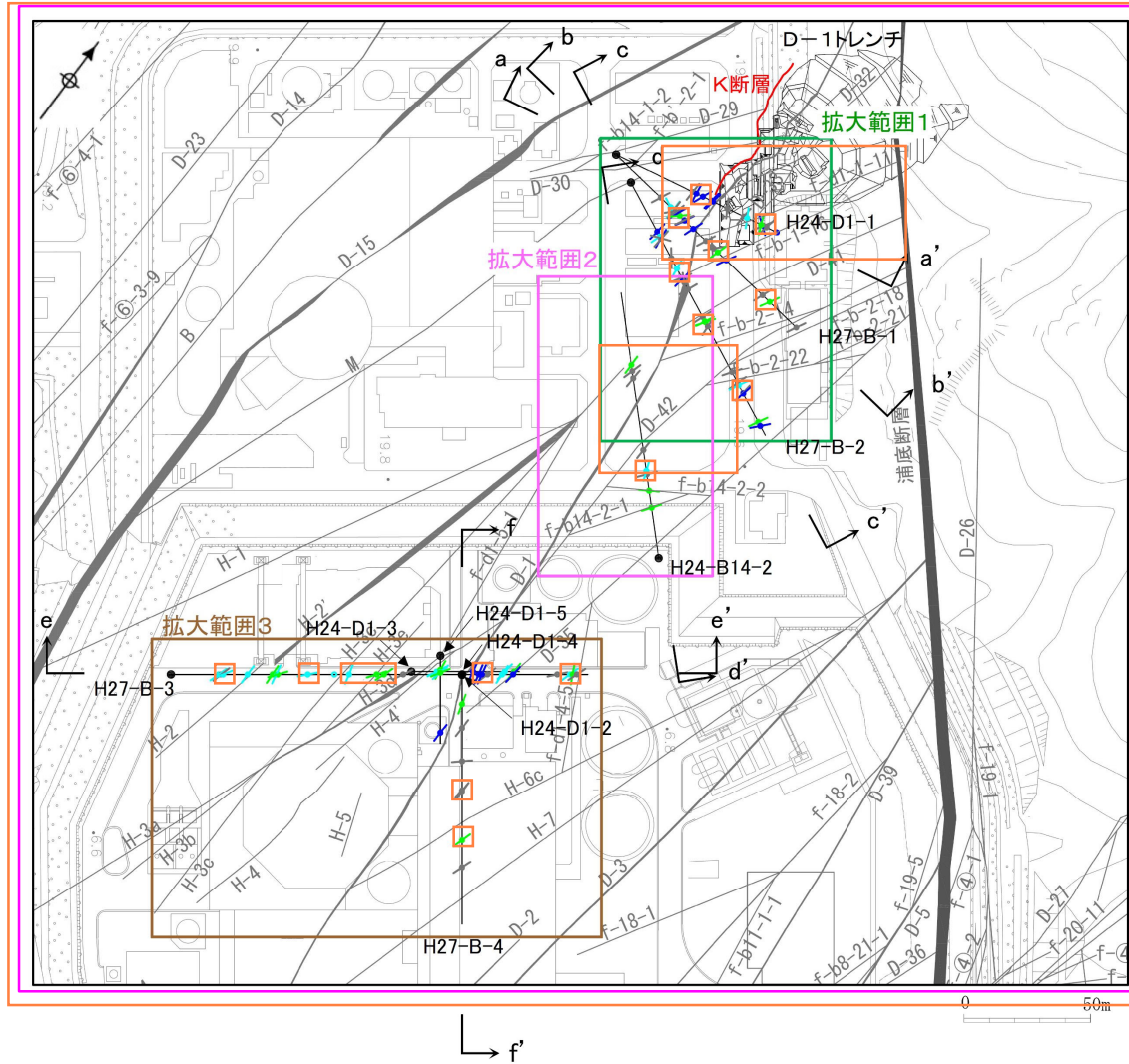
・ K断層南方のボーリングの平面拡大範囲及び断面位置を示す。



拡大範囲及び断面位置図

K断層の連続性評価について 平面拡大範囲と断面位置

・K断層南方のボーリングの平面拡大範囲及び断面位置を示す。



26, 40, 85 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。
これに伴い、関連する周辺破碎帯
の分布を修正（具体的には、後掲
の拡大図に記載）。

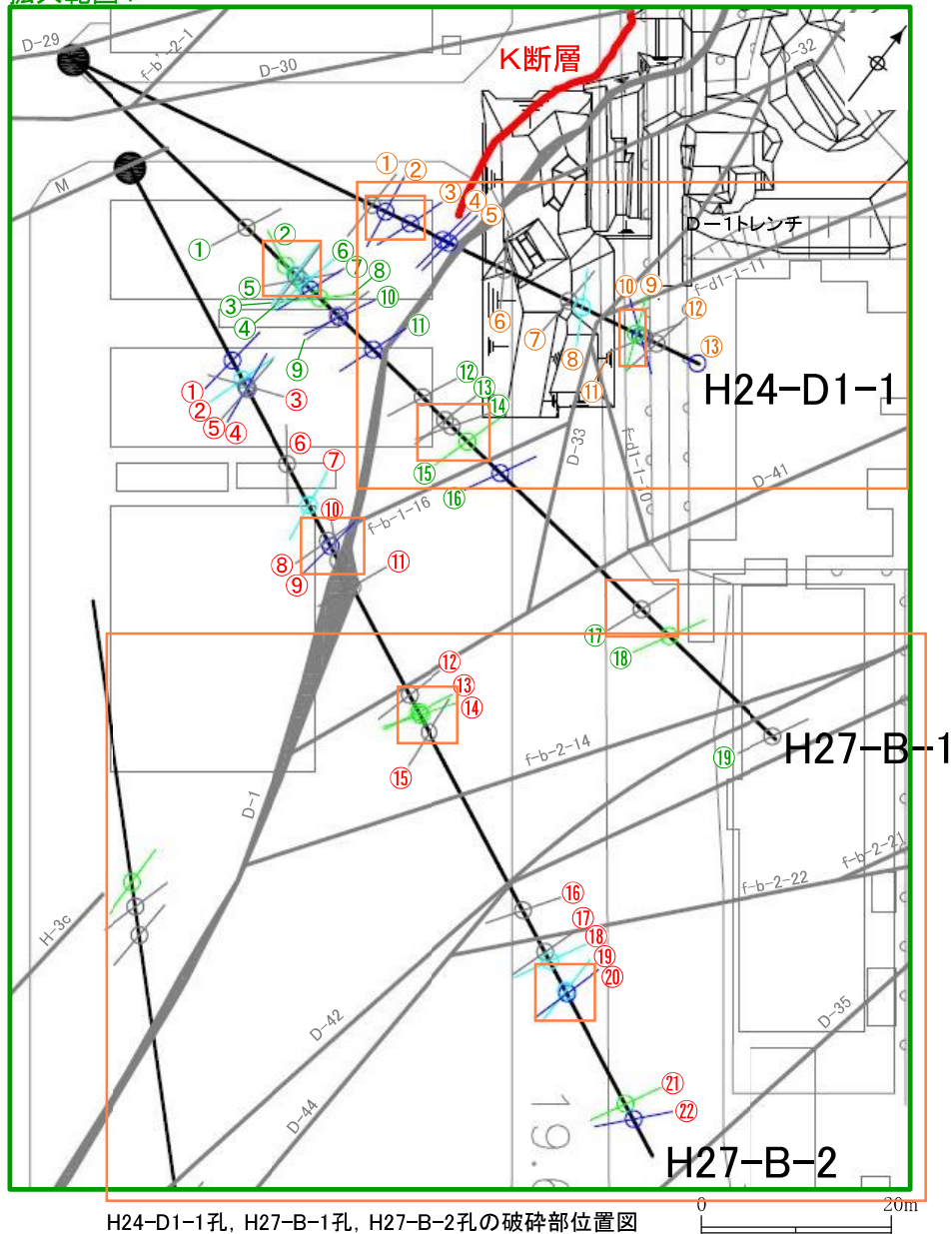
a a' : 断面位置

凡 例	
● ボーリング孔	カタクレーサイトからなる破碎部
○ トレンチ	断層ガウジを伴う破碎部(正断層センス卓越)
— 浦底断層(T.P. -15m)	断層ガウジを伴う破碎部(横ずれ成分を伴う正断層センス)
— K断層(T.P. -15m)	断層ガウジを伴う破碎部(横ずれセンス卓越)
— その他の破碎帯(T.P. -15m)	

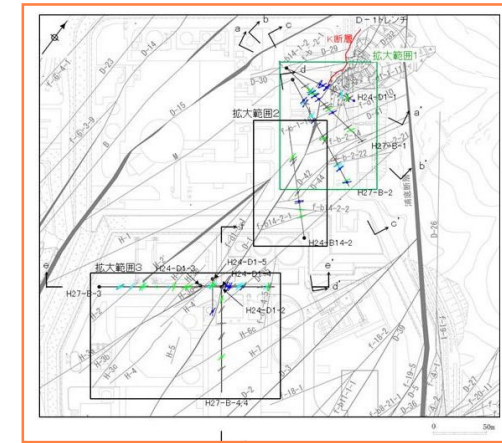
拡大範囲及び断面位置図

修正前

拡大範囲1



H24-D1-1孔, H27-B-1孔, H27-B-2孔の破砕部位置図

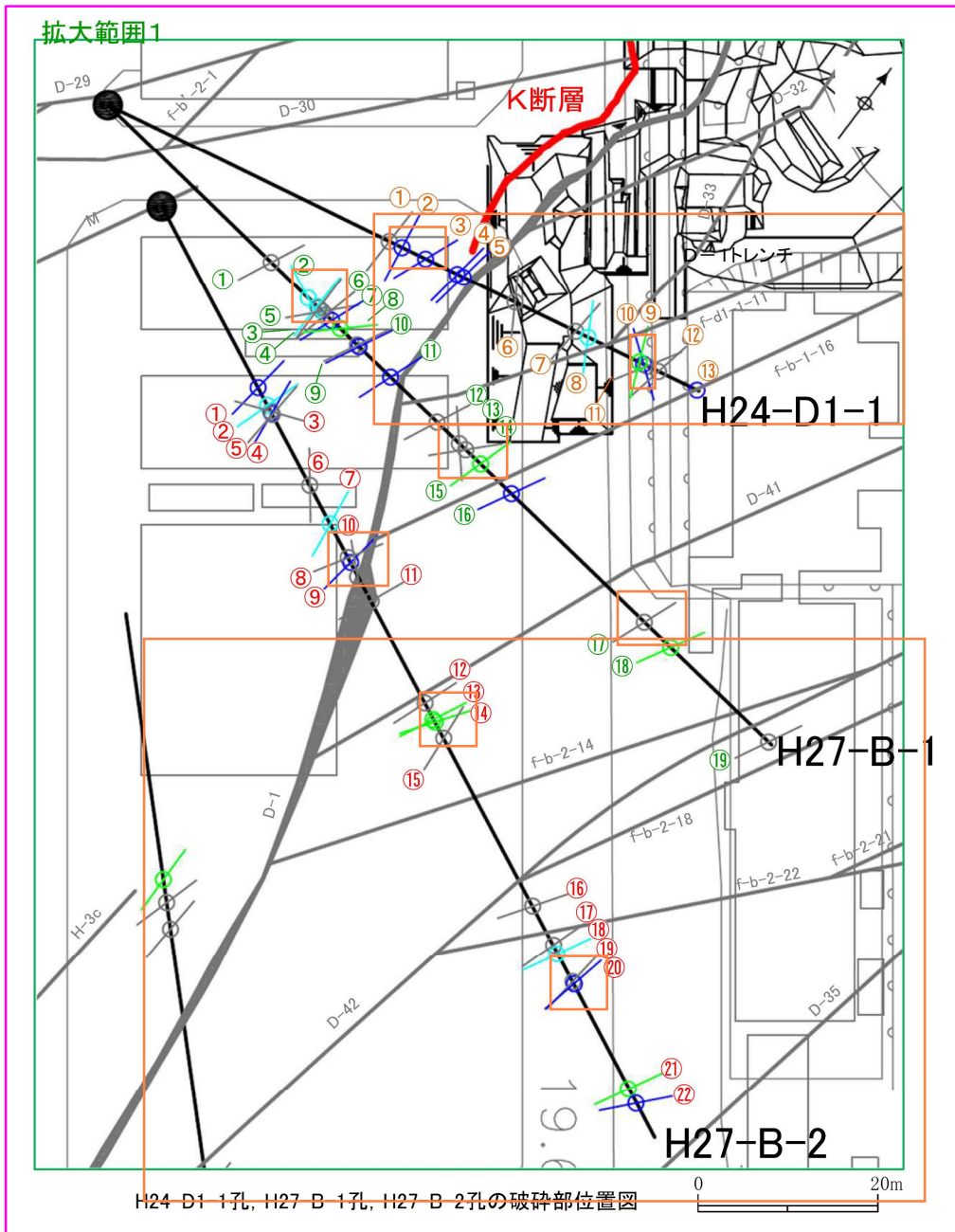


平面拡大範囲図

- ①: 破砕部番号 (H24-D1-1 孔)
- ①: 破砕部番号 (H27-B-1 孔)
- ①: 破砕部番号 (H27-B-2 孔)

凡例	
●	ボーリング孔
—	破砕帯 (T.P. -15m)
—	K断層 (T.P. -15m)
↗	カタレーサイトからなる破砕部
↘	断層ガウジを伴う破砕部 (正断層センス卓越)
↗	断層ガウジを伴う破砕部 (横ずれ成分を伴う正断層センス)
↘	断層ガウジを伴う破砕部 (横ずれセンス卓越)

K断層の連続性評価について

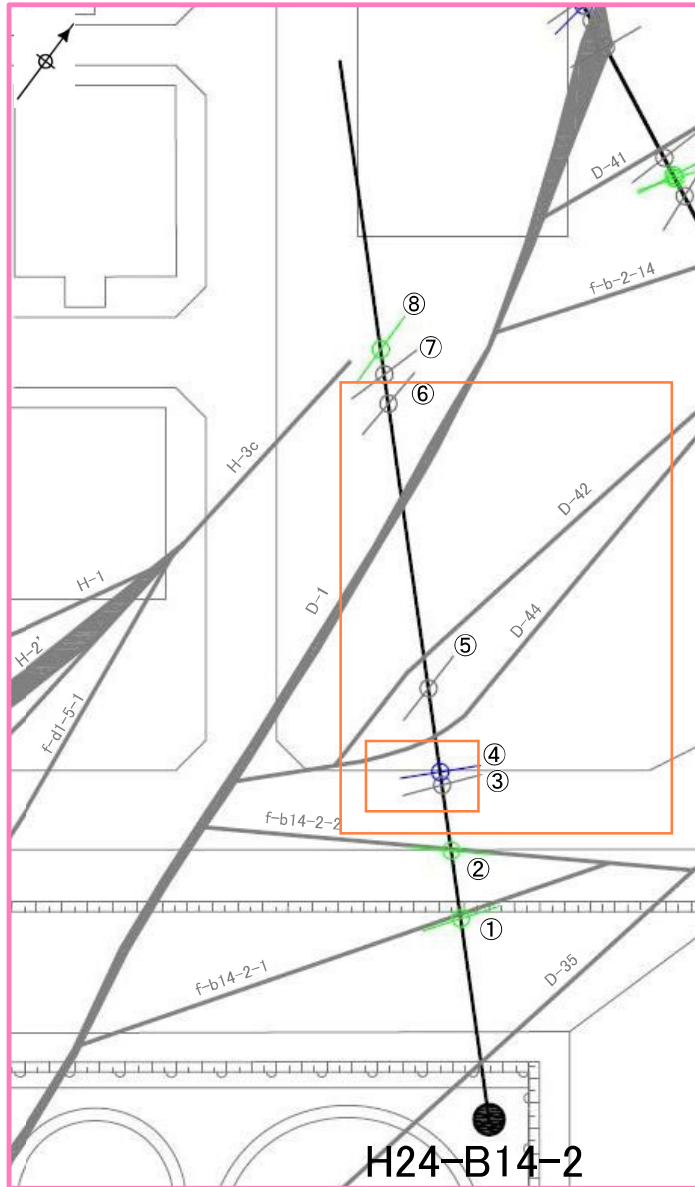


26, 40, 85 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破砕帯の分布を修正。
 ・ f-d1-1-11, D-33, f-b-1-16, f-d1-1-10
 ・ D-44→f-b-2-18,

- ①: 破砕部番号 (H24-D1-1孔)
- ①: 破砕部番号 (H27-B-1孔)
- ①: 破砕部番号 (H27-B-2孔)

凡例	
●	ボーリング孔
—	破砕帯 (T.P. -15m)
—	K断層 (T.P. -15m)
↗	カタクレーサイトからなる破砕部
↘	断層ガウジを伴う破砕部 (正断層センス卓越)
↖	断層ガウジを伴う破砕部 (横ずれ成分を伴う正断層センス)
↙	断層ガウジを伴う破砕部 (横ずれセンス卓越)

拡大範囲2



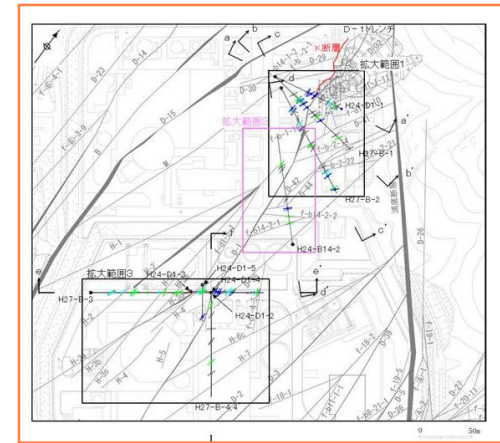
H24-B14-2孔の破砕部位置図



40.85 (令和3年7月16日提出)

修正前

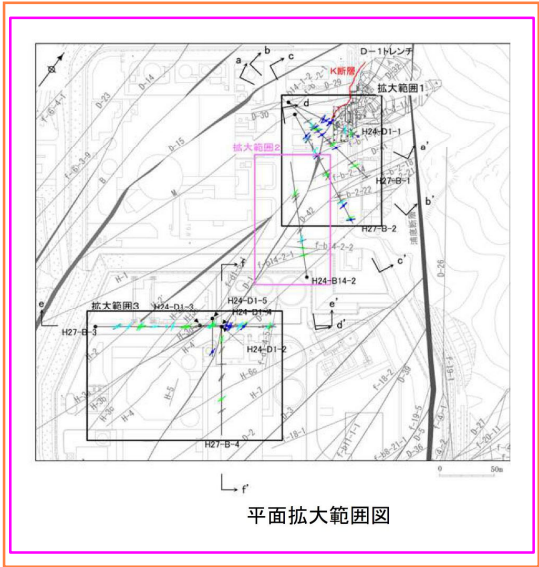
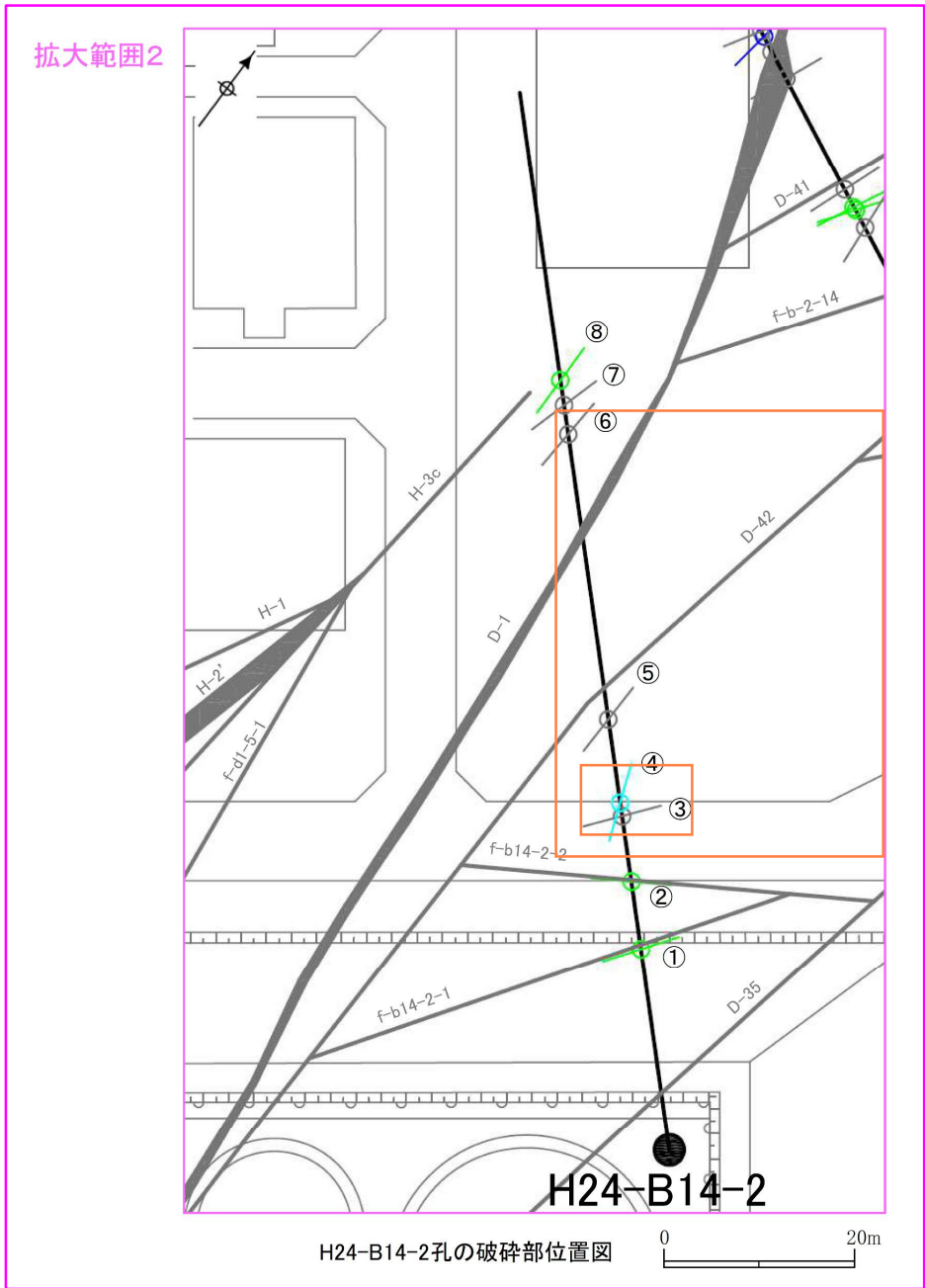
修正箇所：橙色枠



平面拡大範囲図

①：破砕部番号

凡例	
●	ボーリング孔
—	破砕帯(T.P. -15m)
↗	カタレーサイトからなる破砕部
↘	断層ガウジを伴う破砕部(正断層センス卓越)
↖	断層ガウジを伴う破砕部(横ずれ成分を伴う正断層センス)
↙	断層ガウジを伴う破砕部(横ずれセンス卓越)



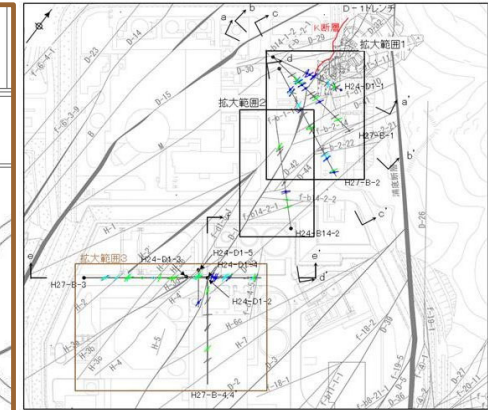
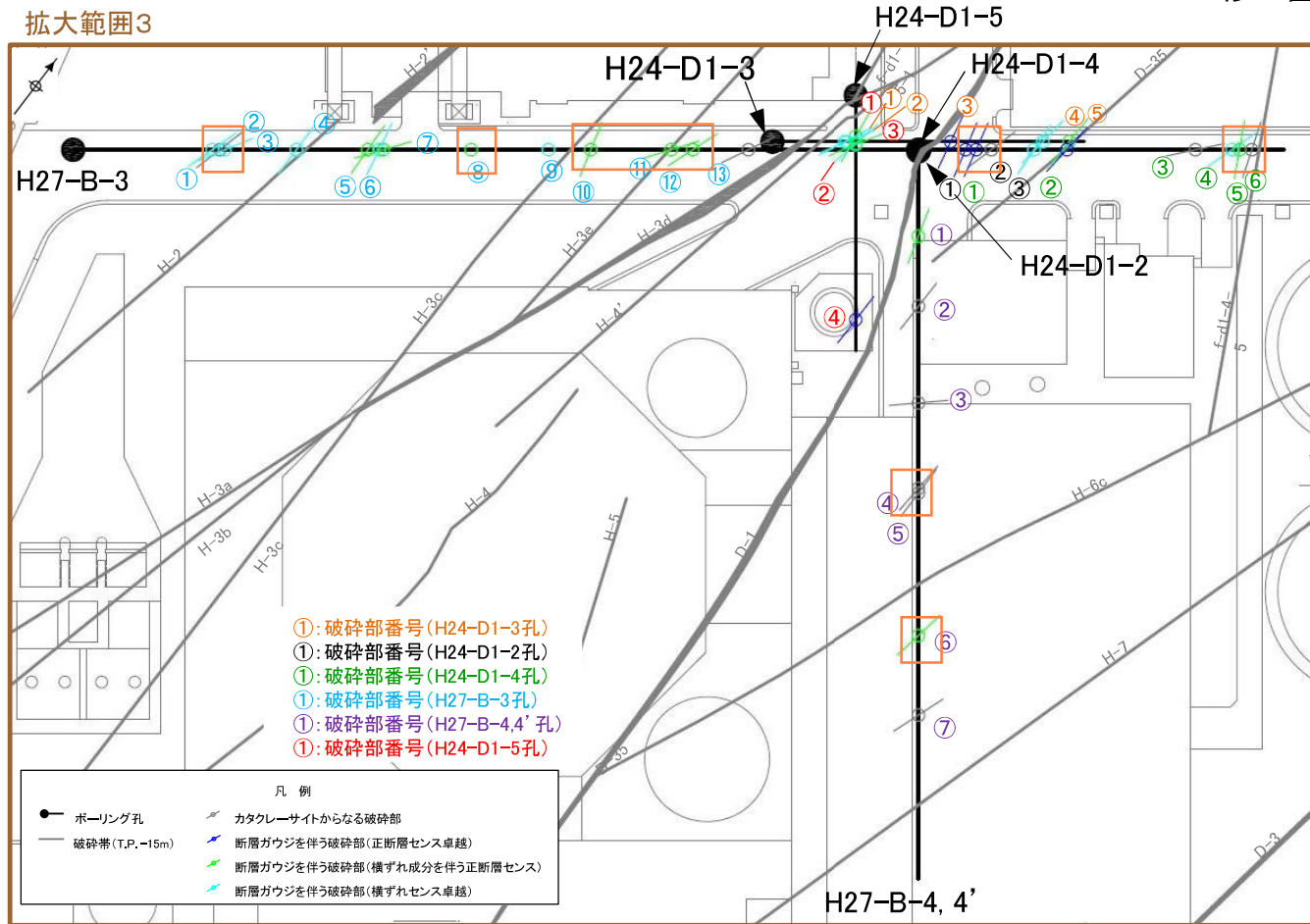
40, 85 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破砕帯の分布を修正。
 ・D-44の分布を修正

①: 破砕部番号

凡例	
●	ボーリング孔
—	破砕帯 (T.P. -15m)
↗	カタクレーサイトからなる破砕部
↘	断層ガウジを伴う破砕部 (正断層センス卓越)
↖	断層ガウジを伴う破砕部 (横ずれ成分を伴う正断層センス)
↙	断層ガウジを伴う破砕部 (横ずれセンス卓越)

修正前

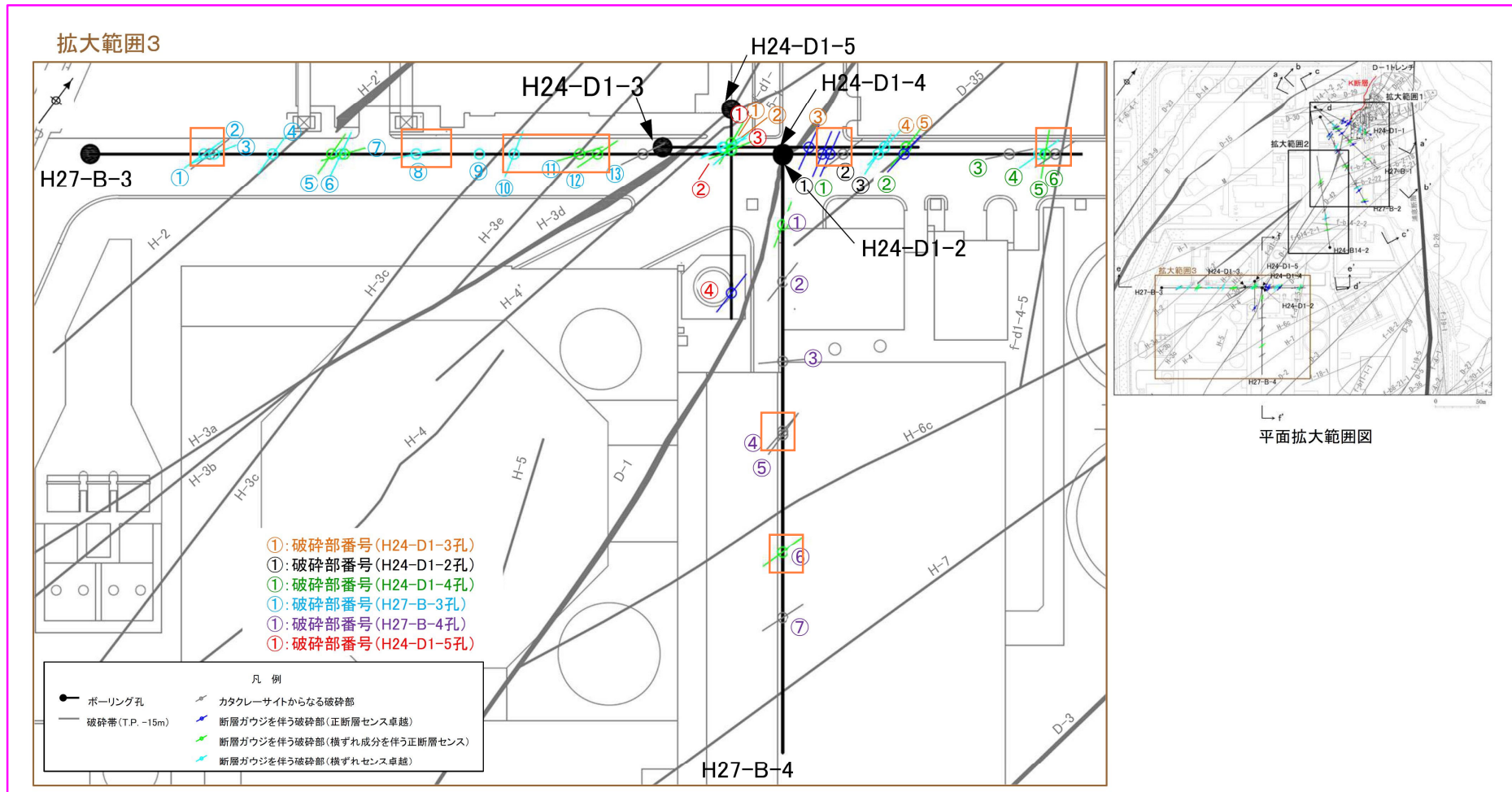
拡大範囲3



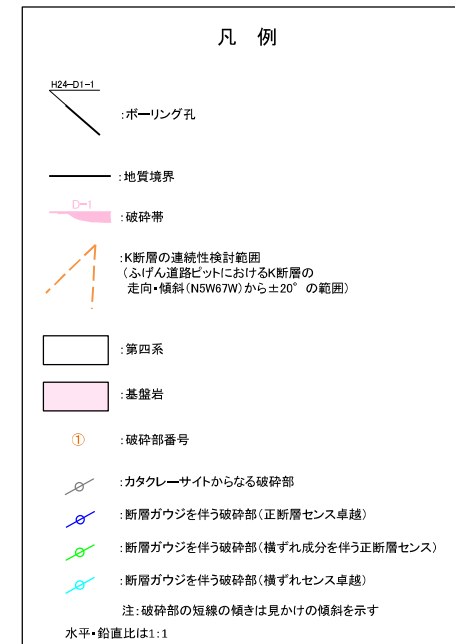
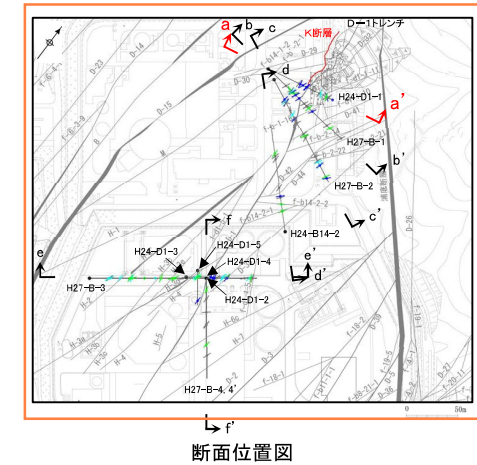
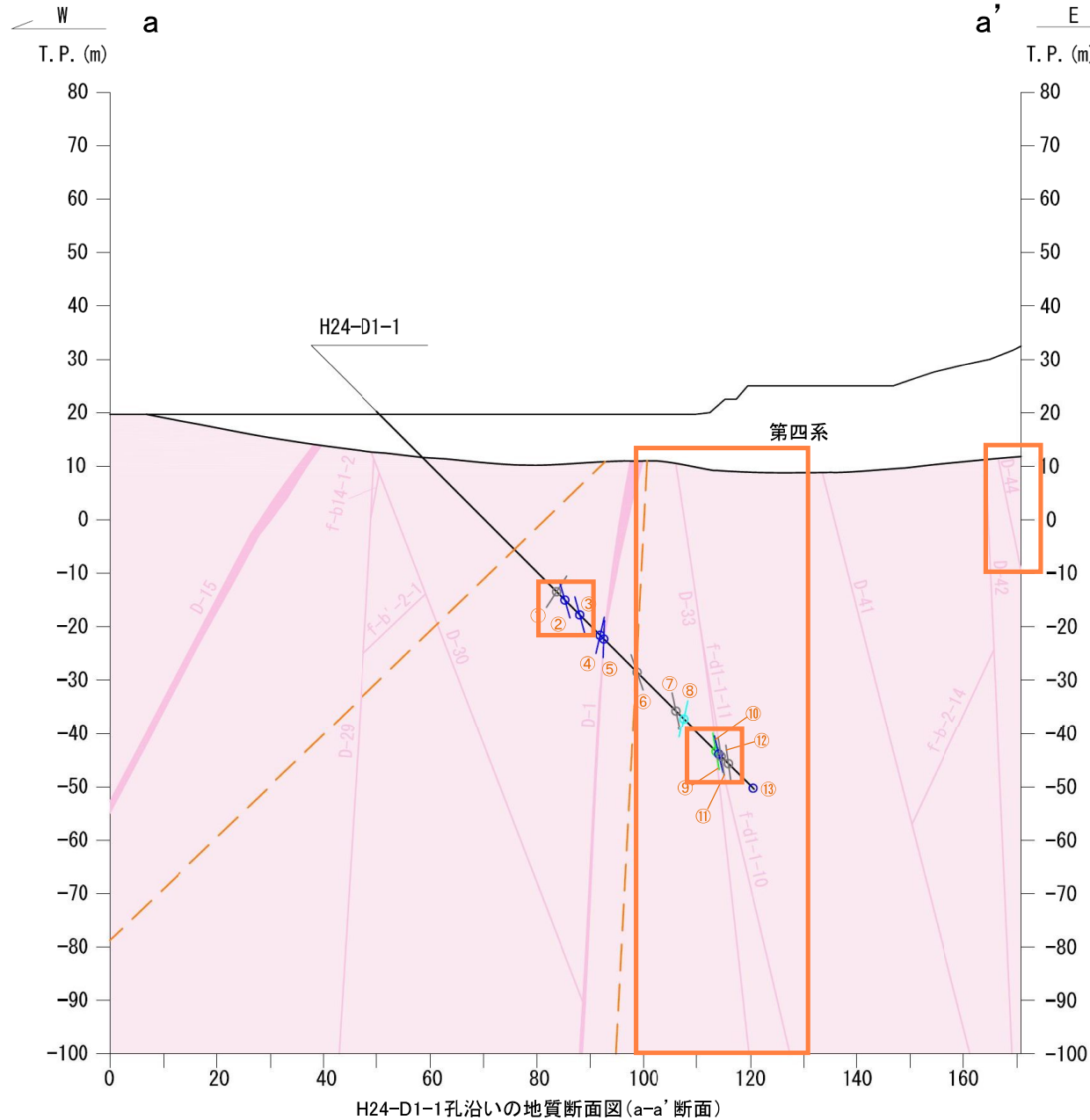
H24-D1-2～5孔, H27-B-3孔, H27-B-4, 4' 孔の破砕部位置図

0 20m

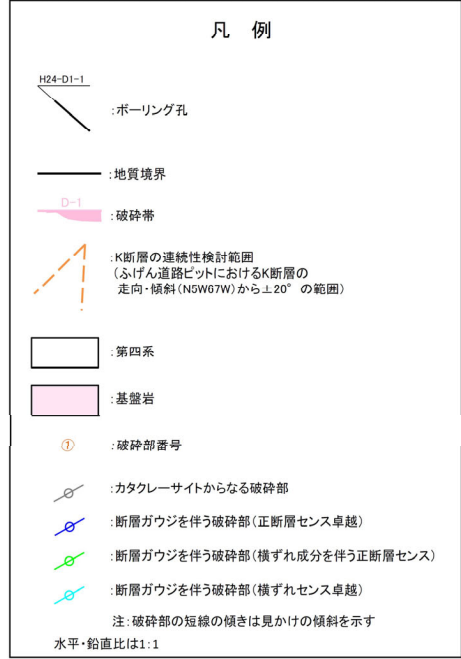
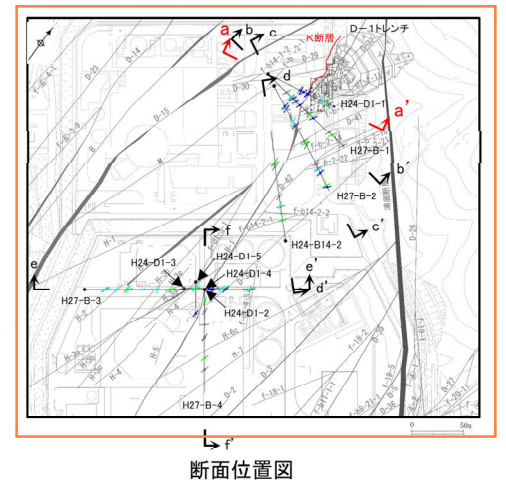
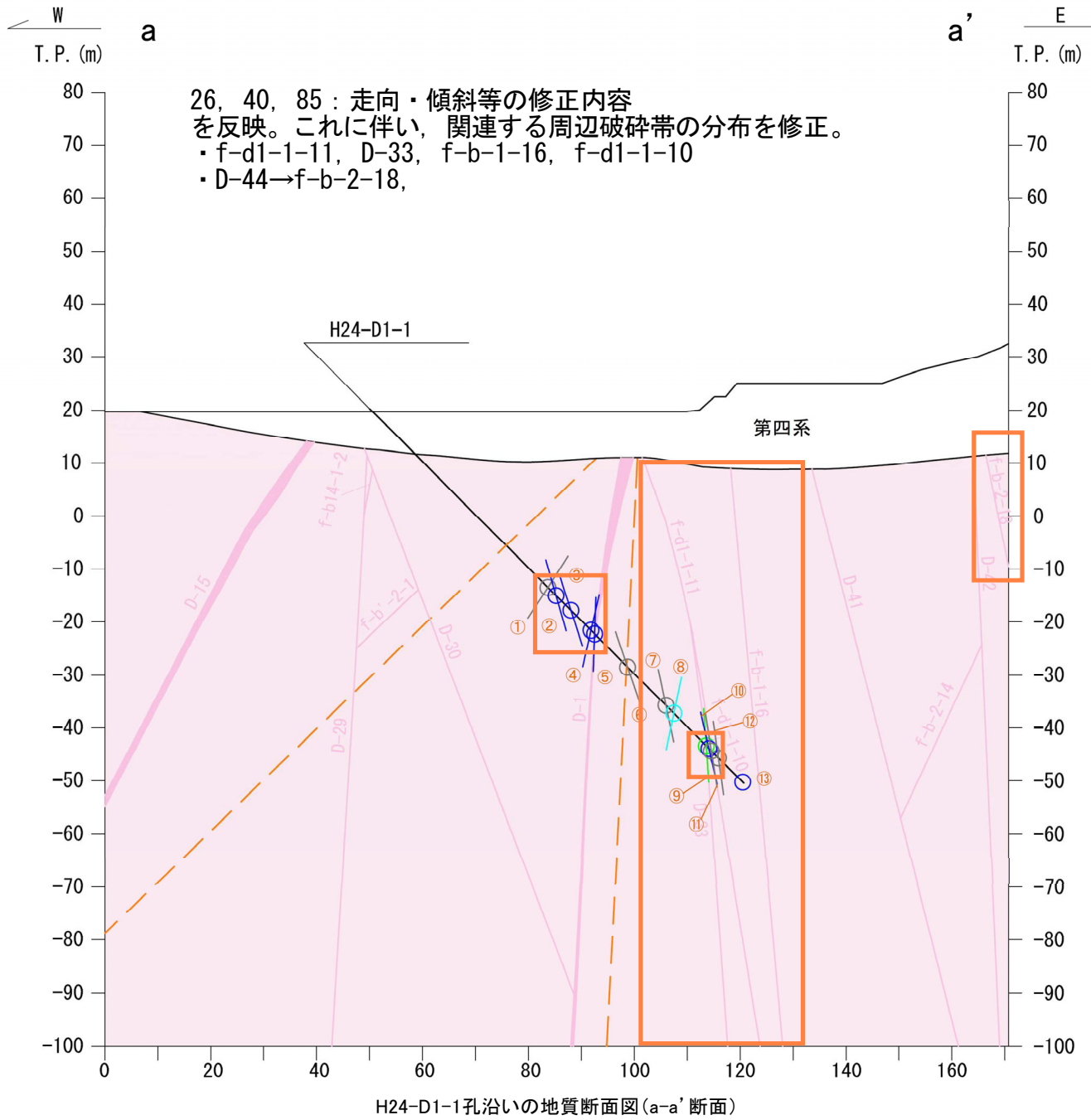
85 : 走向・傾斜等の修正内容を反映



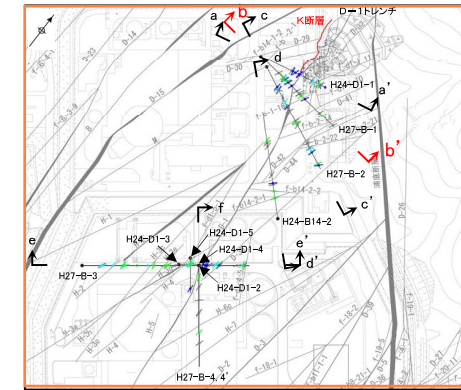
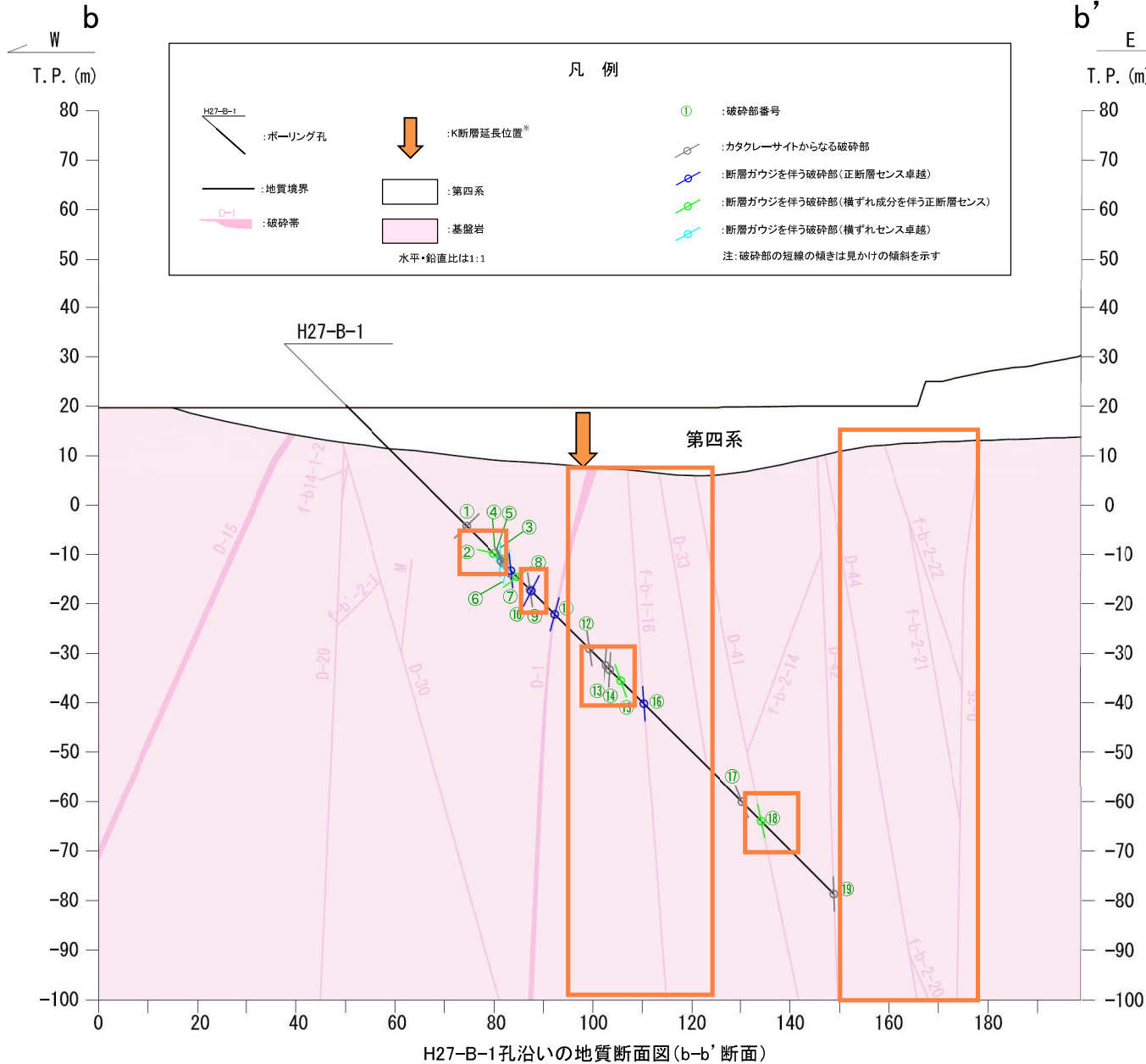
H24-D1-2~5孔, H27-B-3孔, H27-B-4, 4' 孔の破砕部位置図



K断層の連続性評価について



修正箇所：橙色枠

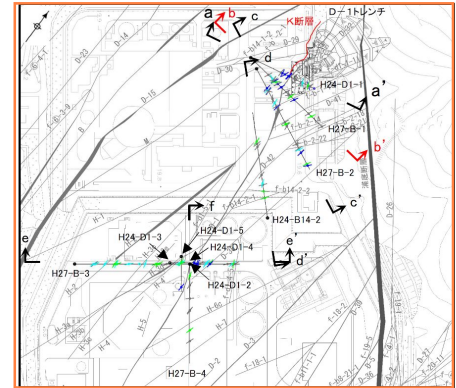
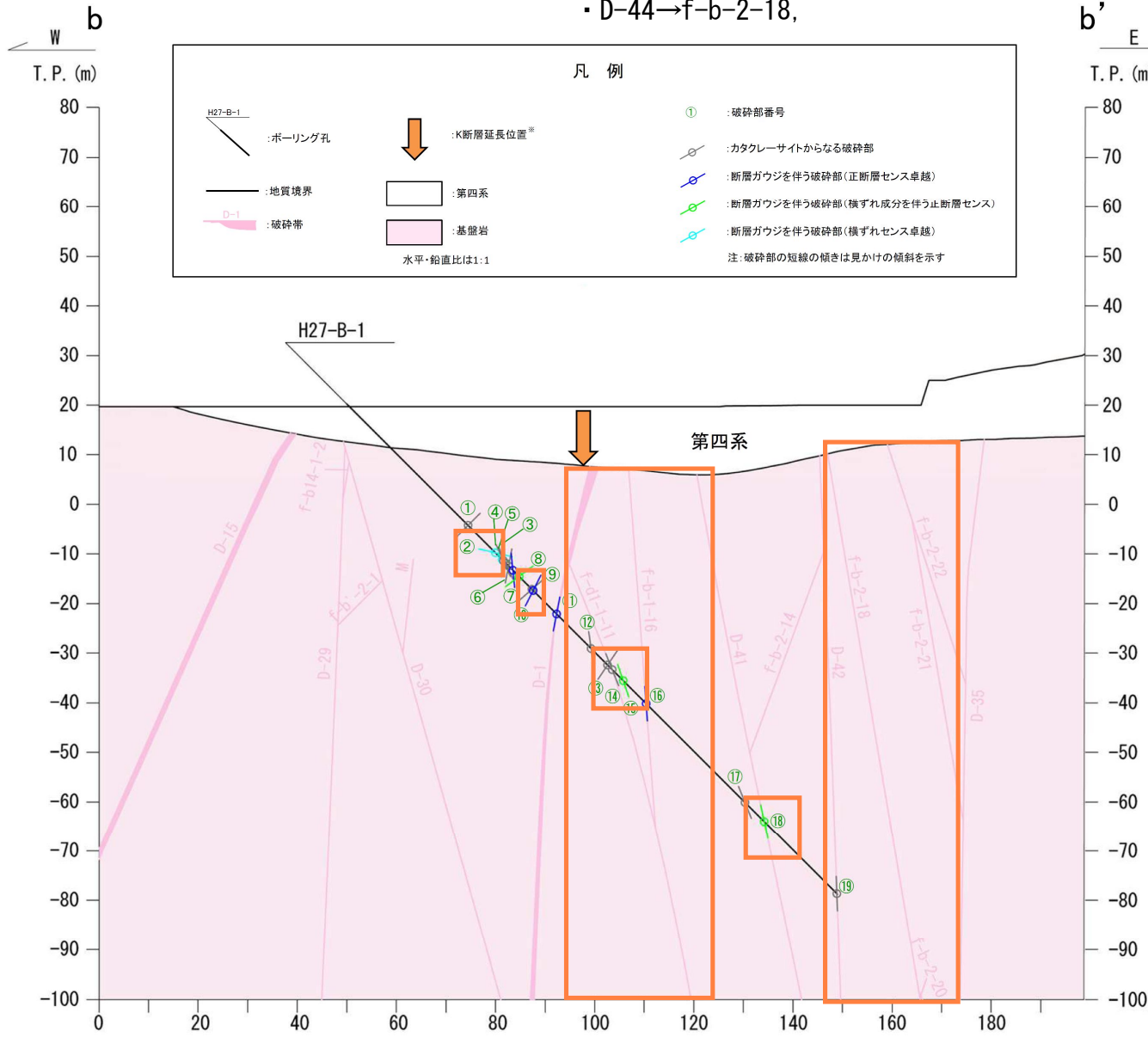


※: K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
 (走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線の方(N7W)とした。
 傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)

K断層の連続性評価について

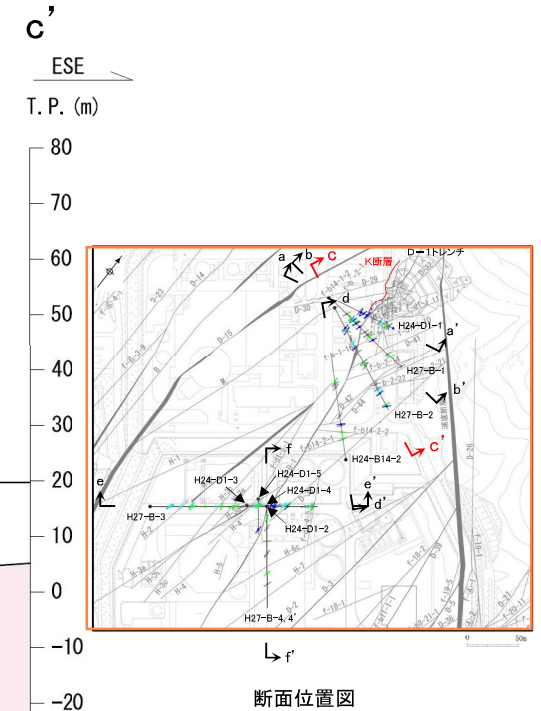
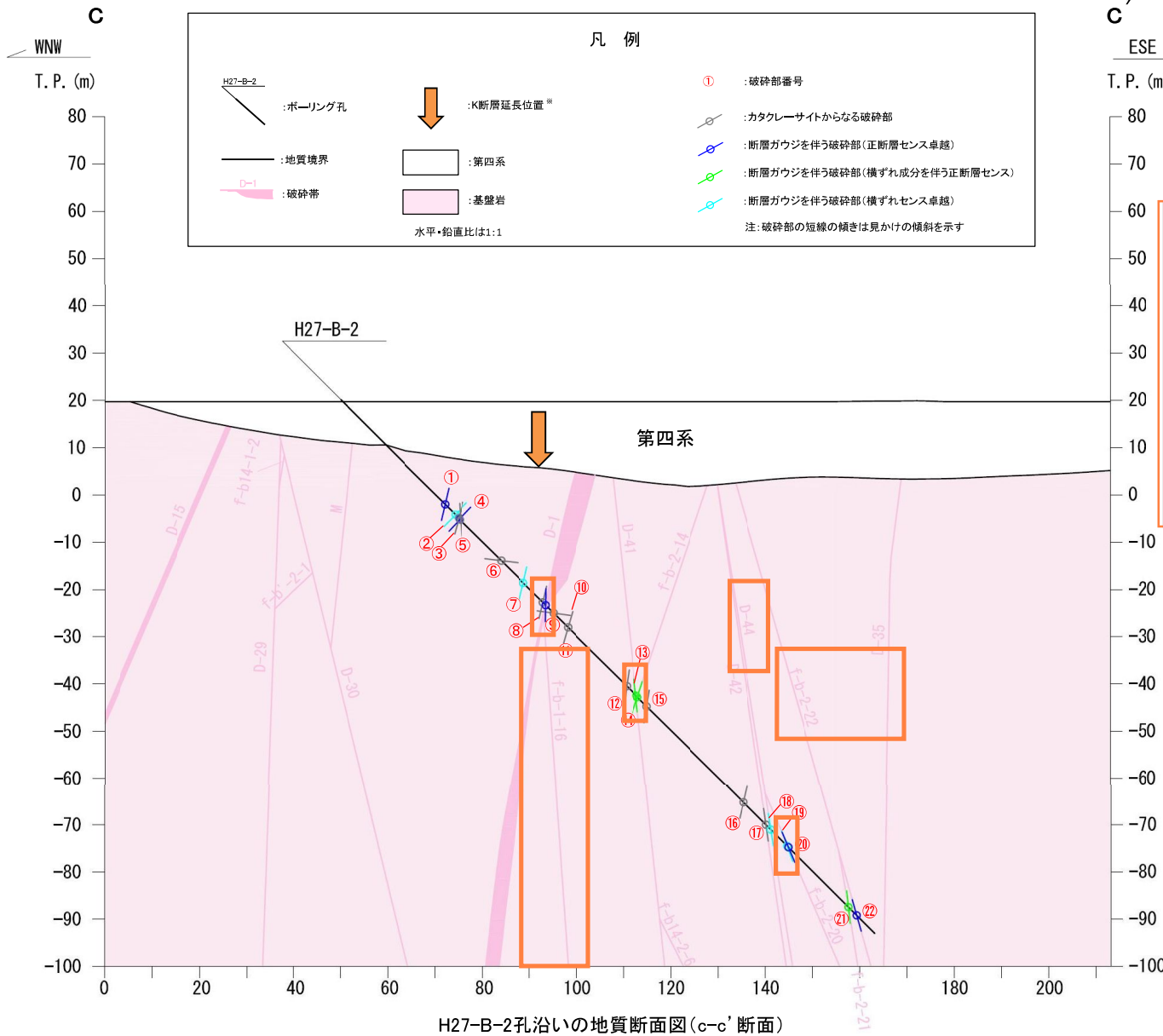
修正後

26, 40, 85 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破碎帯の分布を修正。
 ・ f-d1-1-11, D-33, f-b-1-16
 ・ D-44→f-b-2-18,



※: K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
 (走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線(方向N7W)とした。
 傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)

H27-B-1孔沿いの地質断面図(b-b'断面)

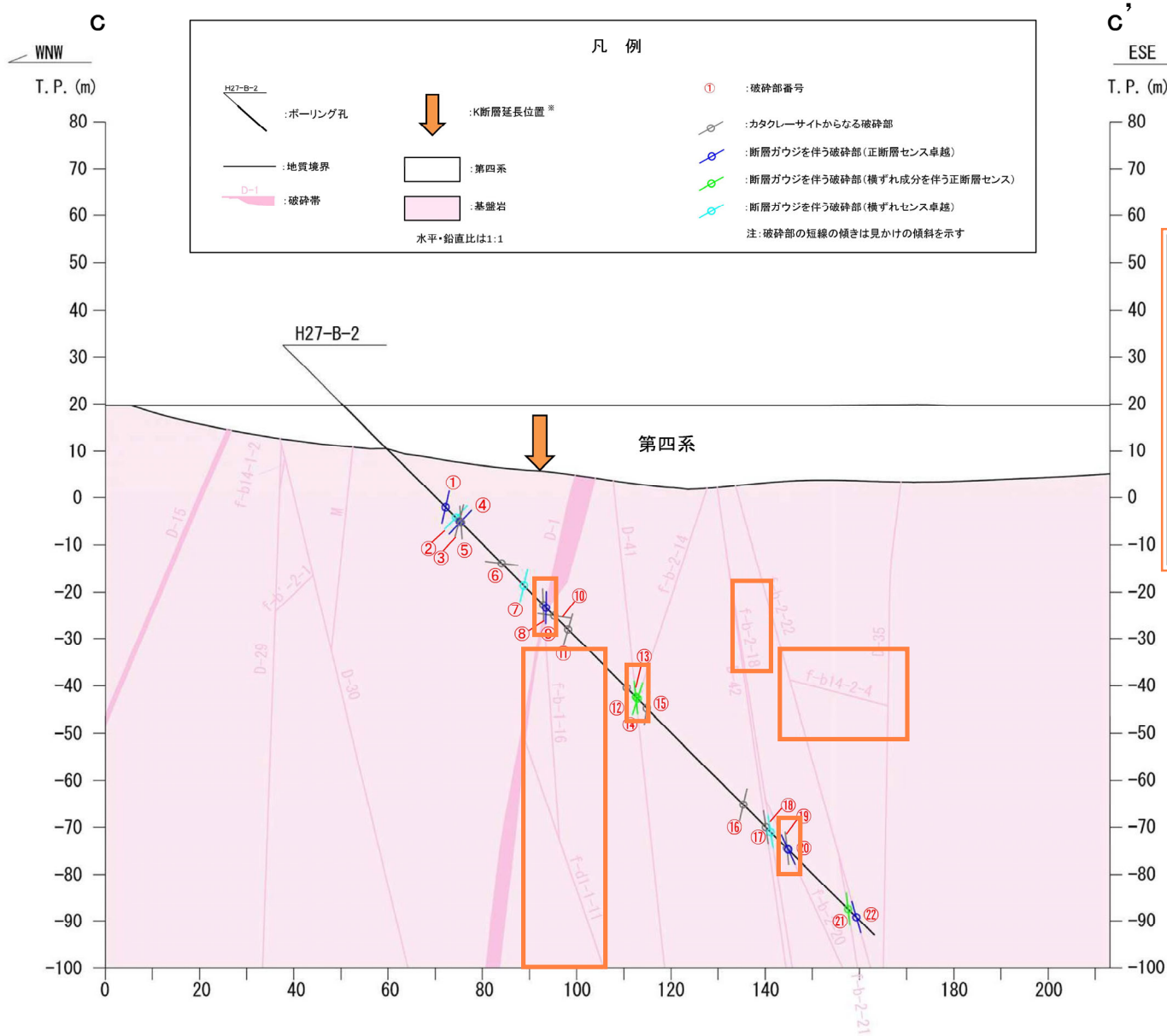


※: K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
(走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線の方(N7W)とした。
傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)

K断層の連続性評価について

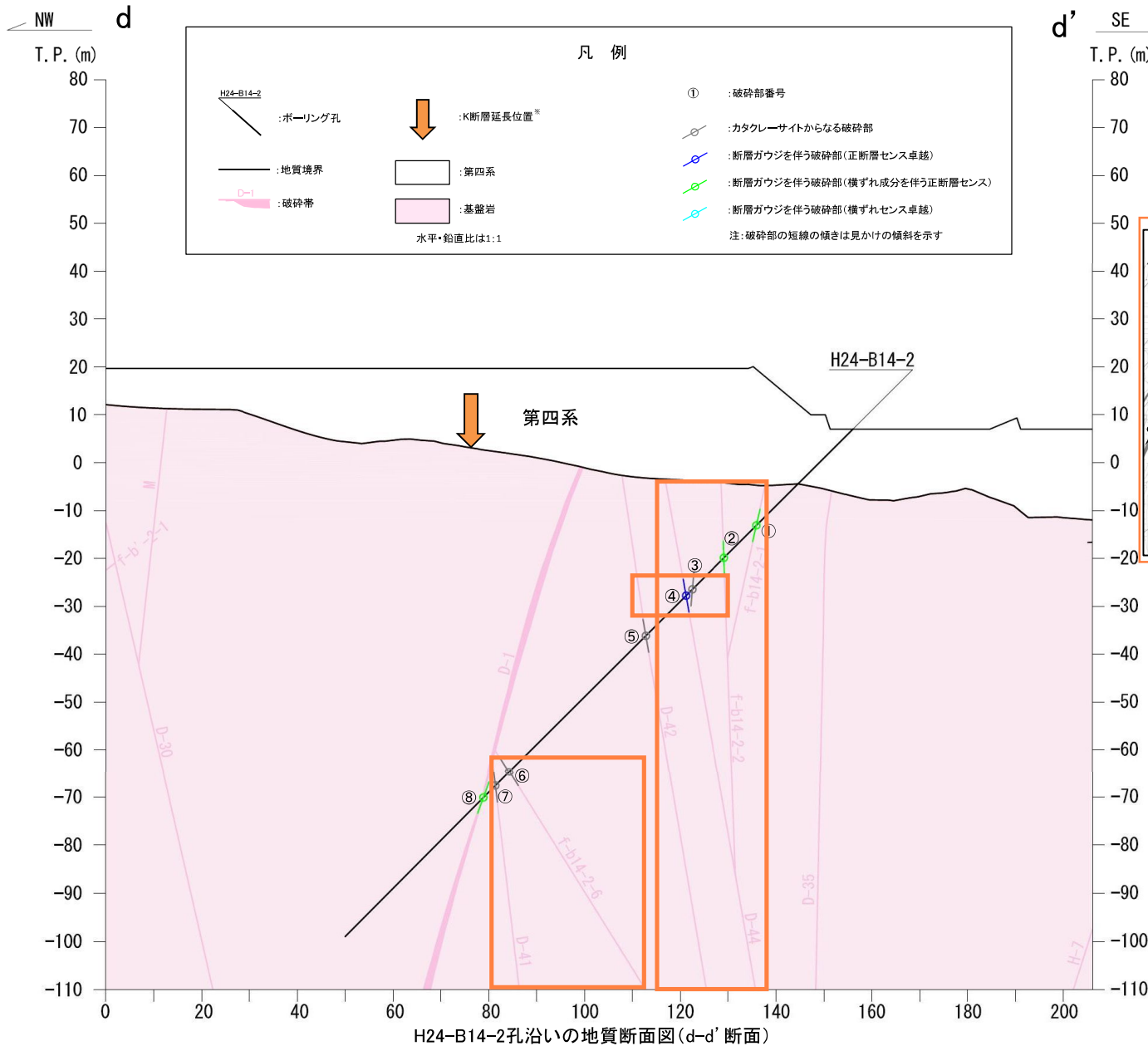
26, 40, 44, 85 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破碎帯の分布を修正。
 ・ f-d1-1-11, f-b-1-16
 ・ D-44→f-b-2-18とf-b14-2-4

修正後



H27-B-2孔沿いの地質断面図(c-c' 断面)

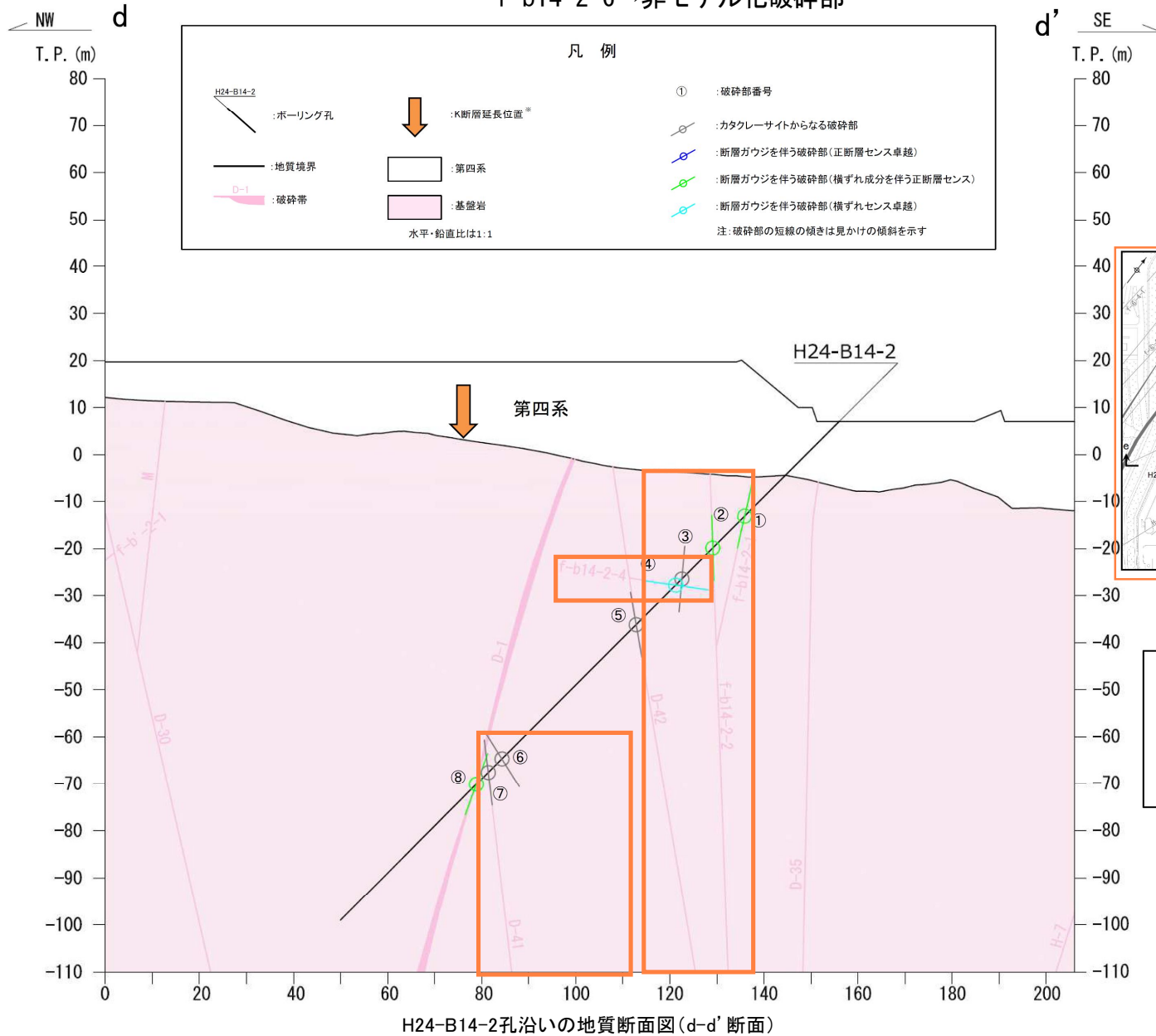
※: K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
 (走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線の方(N7W)とした。
 傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)

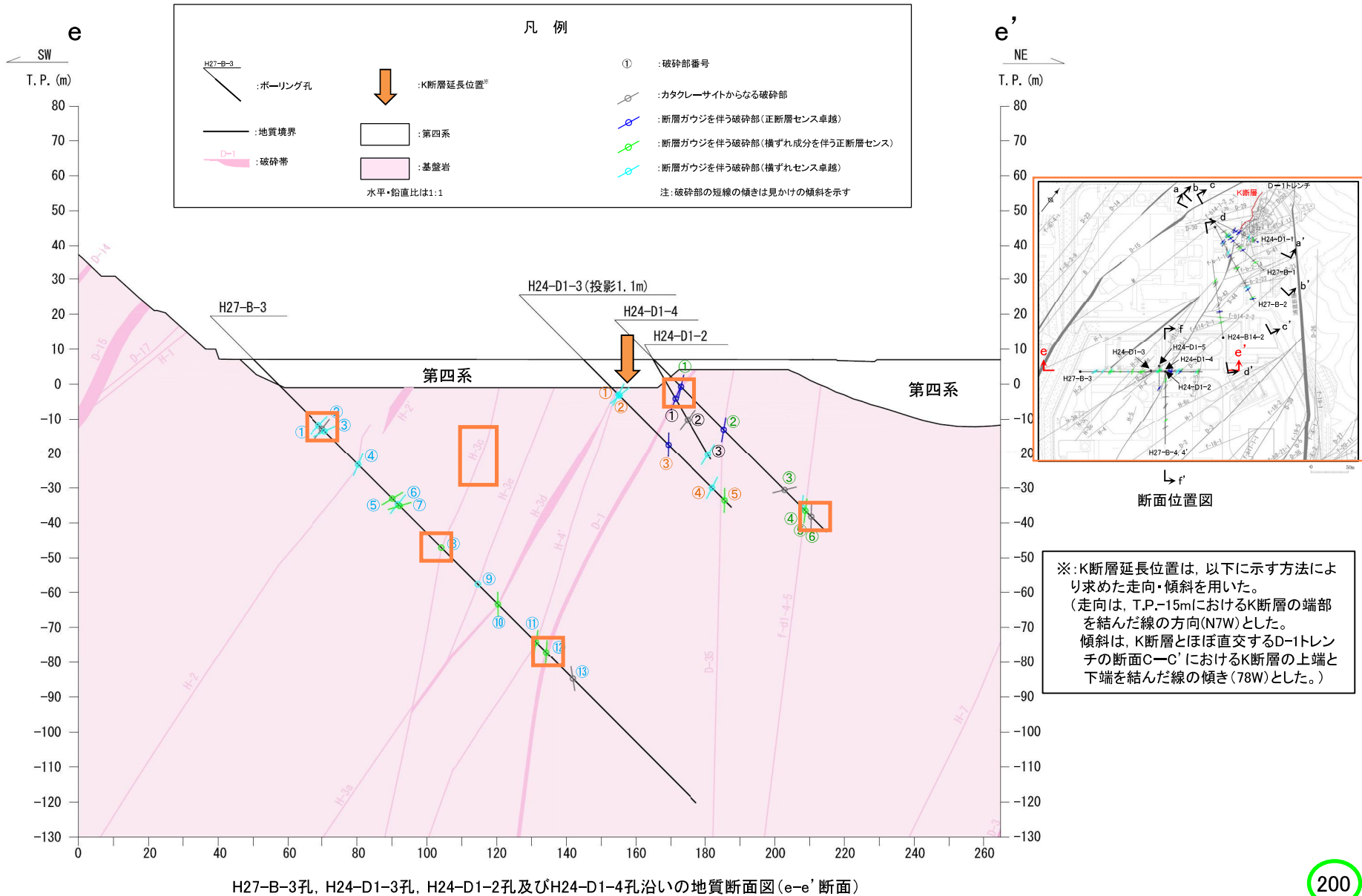


K断層の連続性評価について

44, 45, 85 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破碎帯の分布を修正。
 ・ D-44→f-b14-2-4
 ・ f-b14-2-6→非モデル化破碎部

修正後

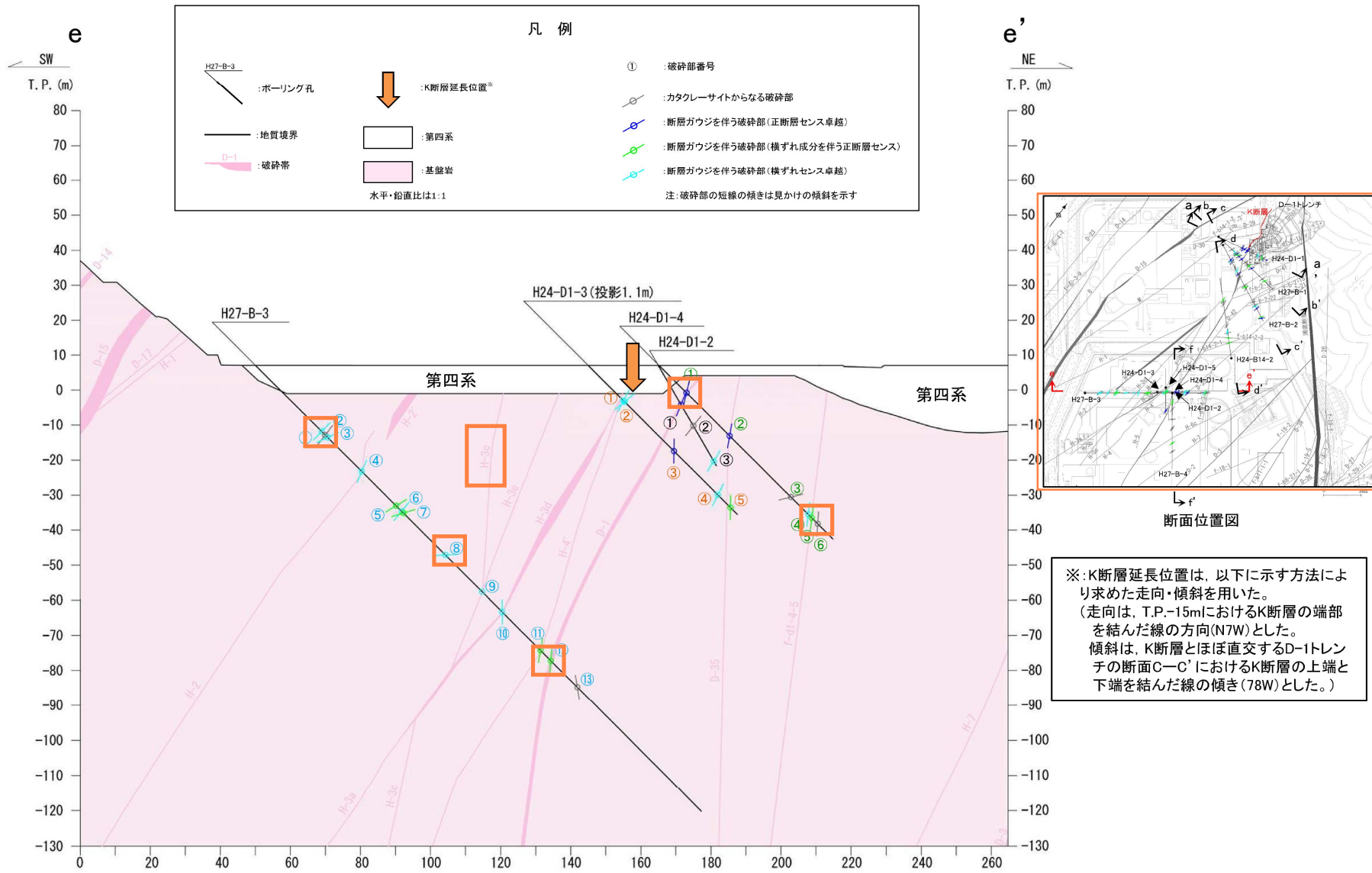




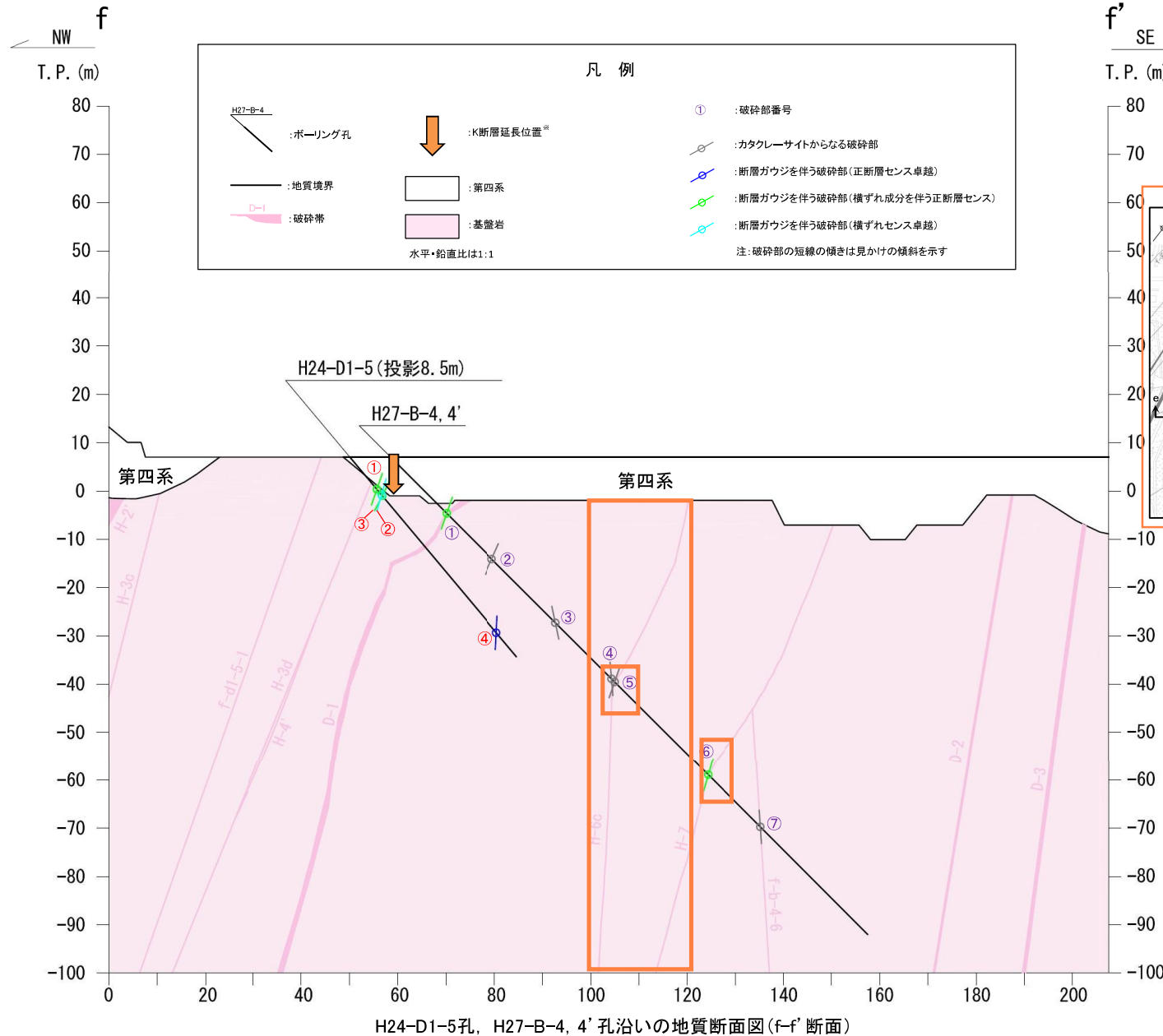
K断層の連続性評価について

修正後

64, 85 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破碎帯の分布を修正。
 ・ H-3c

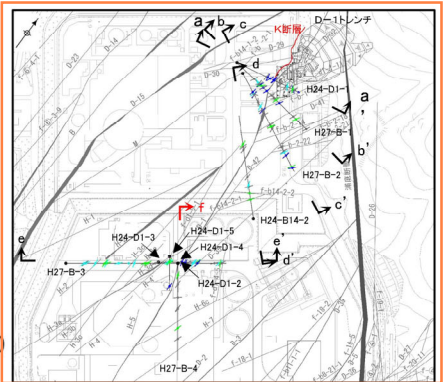
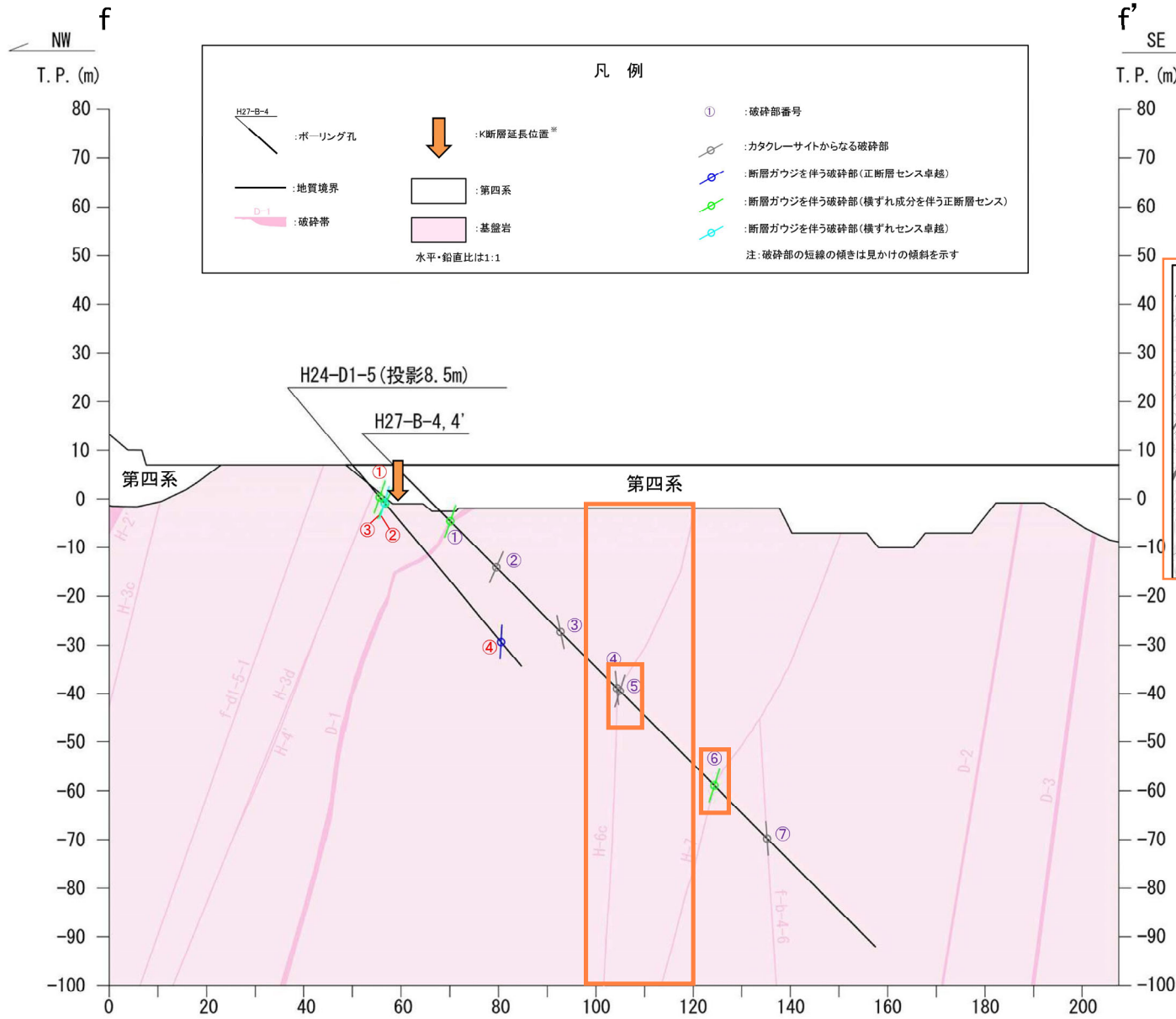


H27-B-3孔, H24-D1-3孔, H24-D1-2孔及びH24-D1-4孔沿いの地質断面図(e-e'断面)



K断層の連続性評価について

78 : H-6c破砕帯分布の修正 (H27-B-4④と合うように修正)
 85 : 走向・傾斜等の修正内容を反映



※: K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
 (走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線(方向N7W)とした。
 傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)

H24-D1-5孔, H27-B-4, 4' 孔沿いの地質断面図 (f-f' 断面)

余白